

第43回 住まいのリフォームコンクール

優秀賞

リフォーム前後の写真

タイトル	格子戸の家				所有・ 建方形式	持家一戸建	講評
設計	永峰昌治建築設計事務所	施工	N デザイン建築設計(株)	構造	在来木造		
同居していた両親を見送り、これからの一人の暮らしに適した住まいへのリフォーム。新たに設けた吹き抜けと格子による上への広がりとすっきりと整えられた空間は、新たな暮らしへの期待と、活力を生み出してくれそうだ。便所経由で浴室への動線採用は妙案。							



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／社会や地域の課題解決に資する取り組み等、審査基準に適合することを示す具体的内容												
駅から徒歩10分ほど、商業地を抜けた先の住宅地に建つ延床面積89.43㎡の小さな住まいである。施主が30年前にご両親との同居のために建てた住宅を、一人暮らしとなった現在の暮らしに合わせてリノベーションした。改修前から1階に寝室や水まわりが配置され、生活が完結できる間取りであったが、同居を前提とした収納や設備計画は現在の暮らし方には適していなかった。そこで既存の骨格を活かしながら、収納や設備を見直し、人生後半を安心して快適に暮らせる住まいへ再編集した。2階は施主が長年続けてきた習字や人形制作のためのアトリエとし、生活空間と創作空間を分離している。友人を招いたワーク						ショップも想定し、高齢期においても人との交流や創作活動を継続できる場となることを目指した。性能面では断熱・気密改修によりUA値0.29W/㎡K、C値0.28㎠/㎡を達成し、耐震改修によって上部構造評点1.62を確保している。第一種換気システムと床下エアコン、2階エアコンを組み合わせ、吹き抜けを介して住宅全体の温熱環境を整えている。施主が好む万本格子や千本格子は、古道具店で購入した古建具を再利用したものである。格子は光や気配に奥行きを与えるだけでなく、空気の流れを遮らず、換気や空調の循環にも寄与している。既存住宅と古建具を活かしながら、これからの暮らしに適応した住まいへ更新した。						
右記に該当する場合は✓(審査基準参照) ☒ a.ストックの有効活用 / ☐ b.技能者不足への対応 / ☒ c.地域・コミュニティの活性化 / ☒ d. 既存流通の活性化等												
Iw値	リフォーム前	1.01	リフォーム後	1.62	UA値	リフォーム後	0.26	性能向上等、特に配慮した事項	断熱・気密・耐震性能を向上させ、創作活動や友人との交流を楽しみながら人生後半を豊かに暮らせる住まいへ再編集した。			
所在地	千葉県				新築竣工年	1996 年		築後年数	30 年		施工期間	210 日間
該当工事床面積	89.43 ㎡				総工事床面積	89.43 ㎡		該当部分工事費区分	3,500万円		総工事費区分	3,500万円
居住者構成	65 歳以上： 1 人 / 40 ～ 64 歳： 人 / 15 ～ 39 歳： 人 / 14 歳以下： 人 / ペット：											

リフォーム前の平面図		リフォーム後の平面図	
1階平面図 2階平面図		1階平面図 2階平面図	
リフォーム部位：■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ ■クローゼット/ □マンション共用部分/ □その他			